

私は十二年五ヶ月間
監禁されていました

一九九五年九月十一日
自宅で食事中

徹・・・
話がある

え？



44歳 ← 31歳

家族の手で無理矢理
ワゴン車に連れ込まれた私



そのまま見知らぬ
マンションの一室に
監禁されました



ドアはけっして
脱出出来ないように
施錠されていました

そこでは
両親、妹、兄と兄嫁が
常駐して私を監視し
棄教を迫りました



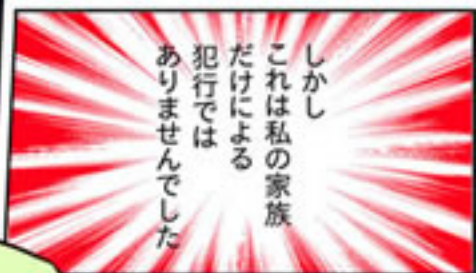
※1
キリスト教会の牧師である
松永保智が私の家族と
計画したものでした



また、プロの脱会屋である
宮村峻が元信者を
引き連れて何度も私の元を
訪れ棄教を迫りました



しかし
これは私の家族
だけによる
犯行では
ありませんでした



監禁された私は
人権とは程遠い
過酷な生活を
強いられました



40度の高熱を出しても
病院に連れて行って
もらえず

逃げようとする
力ずくで取り押さ



叩きうつす私の口を
無理矢理ふさぎました

兄嫁からは
何度も平手打ちを
され

いいかげんに
目を覚ましなさい



時にはわずかな食べ物
しか与えてもらえず

私は流し台の残飯を
食べて餓死を
免れたのです



そして、監禁が始まってから
十二年五ヶ月後・・・

ついに家族は
私への脱会をあきらめ
私は解放されました

出てけ!

私は助けを求めて
必死に歩き
通りかかった人に
統一教会まで
連れて行ってもらい
その夜のうちに病院に
運ばれました

※2
そして栄養失調と診断され

緊急入院しました



私は解放後
自分を監禁した彼らを
刑事告発しました

しかし東京地検は

この事件を
不起訴にして
しまったのです

不起訴

検察庁

検察審査会に
私は不服申し立てを
しましたが、私の主張は
認めてもらえませんでした

しかし
彼らの主張に
私は到底納得
できません！

食事制裁なんかしていないわ
七ヶ月間カロリー不足の
食事を出し続けただけよ



家族

それが食事制裁
じゃないか！

統一教会の批判は
してないよ
ただデタラメだと
教えに80回くらい
会いに行っただけどね

宮村氏

それを批判と
言わず
何と云うんだ！



私の訴えは日本のマスコミやNGOで
ほとんど取り上げられなかったため
私は国連などで
講演を行いました
そしてヨーロッパから
調査団が日本に来たり
海外のメディアに
取り上げられるなど
大きな反響を与えました

在日米国大使館

国境なき人権

デンバー大学

みなさん！
どうか
二度とこのような
犯罪が起きないように
私に力を貸してください！

